

Healthy Aging Innovation Summit (HIROSAKI)

弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2021

弘前 COI 拠点のめざす「健やかに老いる社会」の実現に向けて、国民の健康寿命延伸とQOL・GNH向上を通じたSDGs達成への貢献をめざし、世界最大級の超多項目(3000)健康ビッグデータを活用したAI等最先端研究成果等を紹介し、これらを活用した本格的な社会実装による新たな健康産業創出に向けて、ニューノーマル(withコロナ)時代の健康の有り様について第一線の産学官民関係者が結集し、熱く議論する。

2021.
2.5 FRI
13:00-17:15

対象：一般市民・学生・医療関係者・大学・企業・研究機関等
先着150名(会場参加)

オンライン同時開催
参加無料

アートホテル弘前シティ
プレミアホール
(青森県弘前市大町1-1-2)

主催：弘前大学・青森県・弘前市
共催：(国研)科学技術振興機構
(JST)・青森県医師会・
健やか力推進センター
ひろさき産学官連携フォーラム
後援：文部科学省

— 寿命革命『健康BD』と『QOL健診』でQOL & GNHを最大化しSDGsに貢献する —

“ソーシャル・ヘルス イノベーションPJ 最前線” ニューノーマル(withコロナ)時代の健康未来を考える

PROGRAM (案) ※プログラム・登壇者は、一部調整のため変更になる可能性があります。

開会挨拶
共催挨拶
来賓挨拶

弘前大学長・福田眞作、青森県知事・三村申吾、弘前市長・櫻田宏 (15)
(国研)JST 科学技術振興機構 理事長・濱口道成 (5)
文部科学省 文部科学審議官・松尾泰樹氏 (5)

基調講演

COI STREAM ビジョン1 ビジヨナリーリーダー (元協和発酵キリン社長)・松田謙氏 (5)
弘前大学 COI 拠点長・全体・研究統括 (RL) / 弘前大学学長特別補佐 (COI) / 健康未来イノベーションセンター長・中路重之
「ニューノーマル時代の健康未来イノベーション戦略」(20)

特別企画1

スペシャル対談「スポーツと健康を語ろう」
柔道家 / 東京 2020 聖火リレー公式アンバサダー・野村忠宏氏
日本体育大学体育学部教授 (公財) / 東京都体育協会会長 (アテネ五輪アーチェリー銀メダリスト・ロサンゼルス五輪アーチェリー銅メダリスト)・山本博氏
長野オリンピック金メダリスト / 北海道千歳リハビリテーション大学 客員教授・清水宏保氏
名城大学 薬学部 薬学科 教授・梅田孝氏 (26)
(ブレイクタイム：15)

特別企画2

ビッグデータ解析チーム最前線：京都大学大学院医学研究科 教授 /
弘前大学 COI 拠点ビッグデータ解析タスクチームリーダー・奥野恭史氏
東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター長 /
弘前大学 COI 拠点ビッグデータ解析タスクチームサブリーダー・井元清哉氏
名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻 実社会情報健康医療学 准教授・中枘昌弘氏
東京大学大学院薬学系研究科 客員准教授・五十嵐中氏 (36)

特別企画3

データ連携最前線：九州大学大学院医学研究院 教授 / 九州大学サテライト拠点 PL・二宮利治氏
京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 / 京都府立医科大学サテライト拠点 RL・的場聖明氏
名桜大学 学長・砂川昌範氏 (24)

特別企画4

地域連携最前線：(地域)弘前市 健康子ども部長・三浦直美氏 (5)

特別企画5

認知症・意思決定支援最前線：一般社団法人日本意思決定支援推進 理事 / 株式会社 LITALICO
LITALICO ワークス事業部長 執行役員 / 京都府立医科大学サテライト拠点 PL・奥村太作氏
京都府立医科大学大学院医学研究科 教授・成本迅氏 (8)

特別企画6

社会実装戦略最前線：弘前大学 COI 副拠点長・社会実装統括 (IL) /
元花王株式会社 エグゼクティブ・フェロー・安川拓次氏
味の素 / 大正製薬 (16)

特別講演

COI STREAM ガバニング委員会委員長 ((株)三菱総合研究所理事長 / プラチナ構想ネットワーク会長 /
東京大学第28代総長)・小宮山宏氏「弘前発：健康コミュニティと健康産業 ～プラチナ社会へのイノベーション～」(15)
「地域共創で人生100年時代 / With コロナ時代の健康未来を考える」

パネルDC

MD：株式会社宮田総研 代表取締役社長・宮田満氏
AD：COI総括ビジヨナリーリーダー代理 / 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部
先端医療・臨床研究支援センター長・水野正明氏
PL：工藤 PL、中路 RL、安川 IL、行政・企業(COI)の代表者など (40)

開会挨拶

弘前大学大学院医学研究科長・教授・廣田和美 (3)

閉会挨拶

弘前大学 理事 (研究担当)・副学長・教授・若林孝一 (3)

併催企画

デモ (大学、関係企業等) 等

※交流会については、今年度は新型コロナウイルスの影響を鑑み中止致します。



申込方法は裏面へ >>>>>>

>> 基調講演・特別講演・特別企画 講師およびパネリストプロフィール

中野 重之 弘前大学COI拠点長・全体・研究統括(RL)・弘前大学学長特別補佐(COI)・健康未来イノベーションセンター長
 昭和54年弘前大学医学部卒業、同年弘前大学医学部内科学第一講座入局、平成16年大学院医学研究科社会医学講座教授、平成24年医学研究科長(兼医学部長)、平成29年医学研究科社会医学講座特任教授。令和2年弘前大学学長特別補佐(COI)、健康未来イノベーションセンター長。主な取組に若木健康増進プロジェクト、がん登録、トップアスリートの健康教育・科学等。



小宮山 宏 COI STREAM ガバニング委員会 委員長(株)三菱総合研究所理事長 / プラチナ構想ネットワーク会長 / 東京大学第28代総長
 1972年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了後、東京大学工学部長を経て、2005年4月に第28代東京大学総長に就任。2009年3月に総長退任後、同年4月に三菱総合研究所理事長に就任。2010年8月プラチナ構想ネットワーク会長に就任。専門は化学システム工学、地球環境工学、知識の構造化。地球温暖化問題の第一人者でも。著書に「地球持続の技術(岩波新書)」、知識の構造化(オプナレッジ)、「課題先進国」日本(中央公論新社)、「日本『前創造』(東洋経済新報社)」、「新ビジョン2050(日経BP社)」など多数。



宮田 満 株式会社宮田総研 代表取締役社長 / 株式会社ヘルスケアイノベーション 代表取締役社長
 東京大学理学系大学院植物学修士課程修了、日経メディカル編集部を経て日経バイオテック編集長、医療局ニュースセンター長、先端技術情報センター長、医療局バイオセンター長を歴任。平成24年6月から令和2年6月まで特命編集委員。慶應大学先端生命科学研究所客員教授、鳥取大学染色体工学センター客員教授。平成27年7月、(株)宮田総研設立。平成29年2月、(株)ヘルスケアイノベーション設立。



水野 正明 COI 統括ビジョナリーリーダー代理 / 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 先端医療・臨床研究支援センター長
 1992年名古屋大学大学院医学研究科修了。社会保険中京病院、国立長寿医療研究センターを経て、1996年名古屋大学医学部脳神経外科助手、1999年同大学院医学系研究科遺伝子治療学助教授、2010年同医学部附属病院脳卒中医療管理センター長、2012年同医学部附属病院先端医療・臨床研究支援センター病院教授。2018年8月1日より、同医学部附属病院先端医療開発部先端医療・臨床研究支援センター長・病院教授。医学博士 脳神経外科専門医 1990年日本脳神経外科学会がレヌス賞。



奥野 恭史 京都大学大学院医学研究科 教授 / 弘前大学COI拠点BD解析タスクチームリーダー
 1993年 京都大学薬学部卒業、同大学院薬学研究科にて博士(薬学)取得。同大学院医学研究科特定教授を経て2016年 京都大学大学院医学研究科ビッグデータ医科学分野教授、現在に至る。理化学研究所計算科学研究センター客員主任研究員、科技ハブ産連本部 医科学イノベーション推進プログラム 副プログラムディレクター、神戸医療産業都市推進機構 クラスター推進センター連携・事業化推進グループ客員部長等を併任。



井元 清哉 東京大学医学研究所 ヒトゲノム解析センター長 / 弘前大学COI拠点BD解析タスクチームサブリーダー
 1996年九州大学理学部数学科卒業、1999年日本学術振興会特別研究員(統計科学)、2001年九州大学大学院数理科学研究科博士課程修了、博士(数理学)。東京大学医学研究所ヒトゲノム解析センター博士研究員、助手、准教授を経て現在ヒトゲノム解析センター健康医療インテリジェンス分野教授、ヒトゲノム解析センター長。スーパーコンピュータを用い、ゲノムデータなど高次元大規模データから知識発見・予測を行うための統計学理論、方法論の研究に従事。



中坊 昌弘 名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻 実社会情報健康医療学 准教授
 2013年名古屋大学大学院工学研究科にて博士(工学)取得。2014年名古屋大学医学部附属病院 病院助教、2018年病院講師へ昇格。2019年名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻 准教授。2020年同大学院医学系研究科 実社会情報健康医療学講座を設立。医学・保健学のデータサイエンス研究に従事。



五十嵐 中 東京大学大学院薬学系研究科 客員准教授
 2002年東京大学薬学部薬学科卒業。2008年東京大学大学院薬学系研究科博士後期課程修了。2008年から東京大学大学院薬学系研究科特任助教、2015年から同特任准教授を経て、2019年より現職。専門は薬剤経済学 医療経済ガイドラインの作成・個別の医療技術の費用対効果評価・QOL 評価指標の構築など、多方面から意思決定の助けとなるデータの構築を続けてきた。



的場 聖明 京都府立医科大学大学院医学研究科 教授 / 京都府立医科大学サテライト拠点 RL
 1990年京都府立医科大学卒業。2003年-2006年米国国立衛生研究所研究員。2015年京都府立医科大学 循環器・腎臓内科学教授。2016年長寿・地域疫学講座教授(併任)。心臓エネルギー代謝、ミトコンドリア機能、老化、心不全の基礎研究や血管再生医療を専門とし、循環器・腎疾患全般の研究・教育・診療と大学の全ての臨床科と協力して、京丹後地区の長寿の原因探索に取り組んでいる。



二宮 利治 九州大学大学院医学研究院 教授 / 九州大学サテライト拠点 PL
 平成5年九州大学医学部卒業。同年九州大学医学研究院病態内科学(旧第二内科)に入局(研修医)、平成7年九州大学医学研究院病態内科学・腎臓研究室に入局、平成12年九州大学医学博士取得(免疫学)、平成15年久山町研究に入局(学術研究員)、平成18年シドニー大学ジョージ国際保健研究所(海外学術研究員)、平成23年九州大学病院 腎・高血圧・脳血管内科(助教)、平成25年シドニー大学ジョージ国際保健研究所(上席研究員)、平成26年九州大学大学院医学研究院附属総合コホートセンター(教授)、平成28年九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野(教授)。



砂川 昌範 名桜大学 学長
 平成4年琉球大学医学部卒業。平成8年医学博士取得後シンシナチ大学医学部ポスドク(分子細胞生理学)、平成12年琉球大学医学研究科 助手(生理学第一)、平成22年同助教(分子細胞生理学)、平成26年琉球大学医学部 講師(医学教育企画室)、平成27年名桜大学人間健康学部教授、平成29年学部長、令和2年学長。血液の線溶現象および血管平滑筋カルシウムチャネル制御機構の解明に取り組んでいる。



工藤 寿彦 弘前大学 COI 拠点・事業統括(PL)/ マルマンコンピュータサービス(株) 常務取締役
 昭和49年沖電気工業入社、医事パッケージシステム開発従事。昭和57年日本システム株式会社役員として設立後、平成3年マルマンコンピュータサービス株式会社入社。看護支援システムおよび電子カルテ NEOCIS 開発。経済産業省事業従事。



参加申込方法(会場での聴講)

当日は必ずマスクを着用し、発熱・咳など体調がすぐれない場合は、参加をお控えください。受付時に体温測定をさせていただき、37.5度以上の場合は入場出来ません。

アートホテル弘前シティ会場での聴講は下記のアドレスに以下の項目をメールで送信してください。①会社名・団体名 ②TEL ③E-mail ④部署名 ⑤役職名 ⑥参加者氏名(フリガナ) ※メールタイトルに必ず「会場参加希望」とご記載ください。

送信先: 弘前大学COI 研究推進機構 宛 >> E-mail : coi_info@hirosaki-u.ac.jp

参加申込方法(オンライン聴講)

オンライン聴講はビデオ会議システム「Zoom」上で開催させていただきます。

オンライン聴講は下記 URL または右記 QR コードの事前登録サイトよりお申し込みください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_yBVu40l1TjeQFvOF-Ux5dw

Zoom に関する当日の視聴方法は下記をご参照ください。



1. 事前登録

「事前登録URL」「QRコード」から事前登録ページにお進みください。入力フォームに従い情報を入力し「登録」ボタンを押してください。

名: 姓:
 メールアドレス:

※名・姓の漢字入力において、入力エラーが出る場合があります。その際は『アルファベット』での名・姓のご入力をお願いします。

事前登録はサミット当日も可能ですがお時間に余裕をもっての登録をおすすめいたします。

2. 聴講用 URL の取得

「登録」ボタンを押すとご登録されたメールアドレスに「聴講用URL」が記載された「登録完了メール」がとどきます。

ウェビナーに参加するには
 PC、Mac、iPad、iPhone、Androidデバイスから参加できます:
 このURLをクリックして参加してください。 <https://us02web.zoom.us/j/81787791632?>
 ※聴講用URLは登録者ごとに異なります。

この登録をキャンセルするには
 登録はいつでもキャンセルできます。

サミット当日の講演開始15分前から聴講用URLをクリックし聴講画面に入ることができます。

3. 当日の聴講方法

Zoom アプリをインストール済みの場合は「Zoom meetings を開く」インストールしていない場合は「ブラウザから起動」をクリック

システムダイアログが表示したら、Zoom Meetingsを開くをクリックしてくださいを実行してください。

Zoomクライアントをインストールしている場合、ミーティングを起動か、Zoomをダウンロードして実行してください。

アプリケーションをダウンロードまたは実行できない場合は、ブラウザから起動してください。

Zoom アプリのインストールが可能です。スマートフォン・タブレット聴講の場合はアプリインストール必須。

お問い合わせ先: 弘前大学 COI 研究推進機構 TEL: 0172-39-5538 E-mail: coi_info@hirosaki-u.ac.jp

・映像視聴に関わる技術サポートは提供いたしません。聴講者のPCやネットワーク設定、Zoomのトラブル等により当日聴講いただけない場合、対応致しかねますので予めご了承ください。